

R4年度 事業名	市税等の収納率向上事業
R3年度 事業名	市税等の収納率向上事業

総合戦略 体系	523	世界のめがねの聖地SABAEの確立 に向けた組織強化	健全で効率的な行政運営	適正な課税と積極的な徴収
------------	-----	-------------------------------	-------------	--------------

PLAN (計画)	部署名	収納課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市税、水道料金、下水道使用料、後期高齢者医療保険料、介護保険料、市営住宅使用料の収納事務を行うとともに、キャッシュレス収納を推進する。				
	概要	市税等の未納者に対し、納税催告や相談、滞納処分等を行う。また、口座振替やスマホアプリ決済(電子納付)による納付について広報誌等で啓発を行い、キャッシュレス収納を推進しながら収納率の向上を図る。				
	コロナ対応 の取組	新型コロナウイルス感染症の影響により納税困難となった者に対し、納税相談等による十分な状況把握の上、法令に基づき適切に対応する。				
法令等 根拠	地方税法、国税徴収法	実施 形態	内容	地方税法の規定による。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	広報紙による啓発	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
	夜間電話催告、納税相談の実施	日	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	30	32	32		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	市税の収納率(現年分)	%	目標値	98.3	99.0	99.0	99.0	99.0
			実績値	98.7	98.5	99.0		
	計算 根拠	収入済額/課税賦課合計額 , 実数値(単位:千円)	達成率	100.4	99.5	100.0		
			実数値	43,669/9,367.7	65,393/9,810.3	10,172/9,184.4		
			ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由							

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	12,325	13,041	18,002	14,676	20,901		事業タイプ	単独事業
	決算額	11,607	11,238	16,271	12,955			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	2	2	202	賦課徴収事務諸経費(収納課)	18,115	18,115
2	2	2	2	203	納税啓発事業費	486	486
3							
4							
5以降	賦課徴収事務諸経費(収納課)(明許繰越分)2,300千円						2,300
						合計	20,901

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	7
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	12	有効性	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない
点数区分	0点~8点		
	9点~16点		
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止		
判定	維持または事務改善		

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	市税等の未納者に対し、電話や文書による催告を積極的に行うとともに、必要に応じ厳正に滞納処分を執行する。また、広報誌等により市税等の口座振替やスマホアプリ決済による納税の啓発を継続し、市民の利便性と収納率向上を図る。新型コロナウイルス感染症の影響により納税困難となった者について、納税相談等による十分な状況把握の上、法令に基づき適切に対応する。
来年度へ向けて	R3年度の実績 市税等の未納者に対して、文書、電話による催告を行い、必要に応じて滞納処分を執行し、収納率向上に努めた。また、納付困難者等の相談に丁寧に対応し、納税者に寄り添った適切な収納業務に努めた。広報誌等により、口座振替やスマホアプリ決済による納税を啓発し、市民の利便性向上と収納率向上を図った。
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 長引くコロナ禍による納税困難者に寄り添った対応に努める必要がある。 新型コロナウイルス感染症対策および市民の利便性向上、収納率向上のため、窓口納付以外のスマートフォンアプリ決済や口座振替による納付を、さらに周知、推進する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 収納支援システムを活用し、市税等の未納者状況、交渉経過等を十分把握した上で文書および電話による納付催告を積極的に行い、状況に応じて適正に滞納処分を実施し、収納率向上を図る。 また、新型コロナウイルスの影響により納付困難となった納税者等に対して、引き続き丁寧で適切な納税相談等の対応を行う。
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒